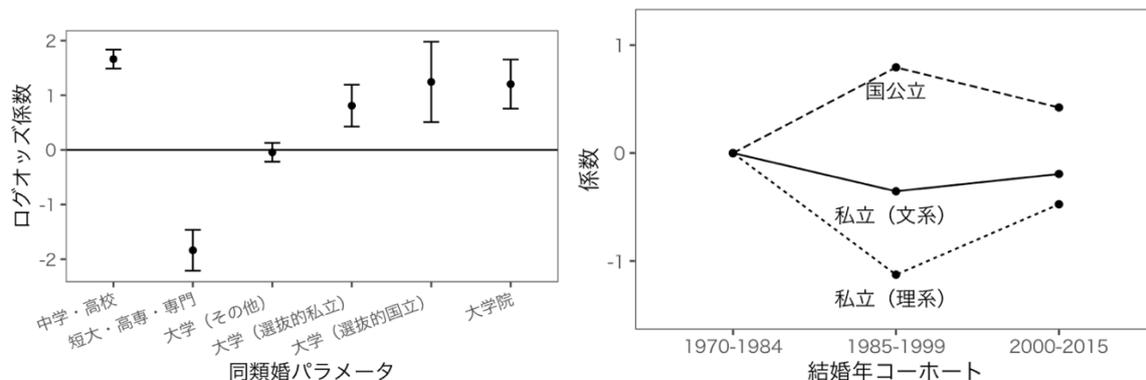


学歴同類婚に対する高等教育の水平的階層性の役割 大卒内の異質性と同類婚減少トレンドへの示唆

○打越文弥 (プリンストン大学)

高等教育が大衆化する中で高校卒業者に占める女性の大学学部進学率は2018年に初めて5割を超え、日本でも大学進学機会の男女差はなくなりつつある。男女の学歴が均等、あるいは多くの国で女性の方が高等教育に進出するようになるにつれ、夫婦の学歴が家族形成や社会階層の形成にどのように寄与するかが問われている。例として、アメリカでは夫婦の学歴の同質性が強まっている (Schwartz and Mare 2005)。学歴が高いほど離婚のリスクが低く、子どもとの生活時間も長くなる傾向があるため、家族形成の変化を通じて世代間格差が固定化する可能性が指摘されるようになる中で (McLanahan 2004)、同類婚の増加はとりわけ重要な要因であると考えられる。日本についても、夫婦の学歴の同質性は一貫して減少しているものの (Fujihara and Uchikoshi 2019)、夫婦の学歴の組み合わせは離婚や所得格差との関連が指摘されている (打越 2019; Uchikoshi and Raymo forthcoming)。

同類婚の趨勢については、これまで教育拡大が同類婚を増加させるのか、それとも減少させるのかといった視点が主だった (Uchikoshi 2020)。しかし、高等教育の拡大は、高等教育内部の異質性の拡大を伴っており、同じ教育年数内部の質的な違いが、社会階層の形成に対してより重要になるという指摘が存在する (Gerber and Cheung 2008)。本研究では、社会階層研究における水平的階層性 (horizontal stratification) の議論を学歴同類婚の事例に応用した二つの研究の結果を報告する。第一に、夫婦の卒業学校名を尋ねた調査データを用いて、大卒内の同類婚オッズが大学ランクによって異なるかを検討したところ、選抜的国立・選抜的私立大学は同じ学校歴の配偶者と結婚する傾向にある一方、それ以外の大卒者の同類婚オッズは低いに等しいことが分かった (左図)。第二に、大学設置者と専攻を組み合わせた上で、結婚年コーホートごとに同類婚の程度が異なるかを検討したところ、近年において国公立大学同士の同類婚オッズが上昇していることが分かった (右図)。当日の報告では、詳細な分析結果および夫婦の学(校)歴の同質性が格差・家族形成に与える影響を議論する。



文献

Fujihara, Sho, and Fumiya Uchikoshi. 2019. "Declining Association with Persistent Gender Asymmetric Structure: Patterns and Trends in Educational Assortative Marriage in Japan, 1950–1979." *Research in Social Stratification and Mobility* 60:66–77.

Gerber, Theodore P., and Sin Yi Cheung. 2008. "Horizontal Stratification in Postsecondary Education: Forms, Explanations, and Implications." *Annual Review of Sociology* 34(1):299–318.

McLanahan, Sara. 2004. "Diverging Destinies: How Children Are Faring Under the Second Demographic Transition." *Demography* 41(4):607–27.

Schwartz, Christine R., and Robert D. Mare. 2005. "Trends in Educational Assortative Marriage from 1940 to 2003." *Demography* 42(4):621–46.

打越文弥, 2019, 「夫婦の離婚からみる学歴結合の帰結: NFRJ-S01・SSM2015を用いたイベントヒストリー分析」『社会学評論』 70(1): 10–26.

Uchikoshi, Fumiya. 2020. "Explaining Declining Educational Homogamy: The Role of Institutional Changes in Higher Education in Japan." *Soc.Arxiv*. doi: <https://doi.org/10.31235/osf.io/45axy>.

Uchikoshi, Fumiya, and James M. Raymo. forthcoming. *Educational Assortative Mating in Japan: Insights into Social Change and Stratification*. Springer.

キーワード: 社会階層、結婚、高等教育